

新・マスタープラン評価結果一覧表

事業評価の概要

効率性評価 有効性評価	A 非常に 高い	B 高い	C 普通	D 低い	E 非常に 低い	一 評価なし	方向性評価	拡充	維持	終了 (完了)	改善 見直し	縮小
								今まで以上に 力を入れて事 業に取り組む ことが適当	今までどおり 事業に取り組 むことが適当	事業・取組み は終了した	事業内容の改 善や見直しを 検討し取組む 事が適当	事業の取組み 規模を縮小す る事が適当
施策	事業・取り組み	1次評価		方向性	2次評価							
		効率性	有効性		経営審議会評価							
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	I-3 水質管理体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	C	D	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。体験型広報活動については、感染症禍の終息状況を見極め、段階的に活動の再開に努めることが望ましい。							
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	B	C	維持	予算規模が大きく、浄配水施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。							
	III-2 管路施設の計画的更新	C	A	維持	予算規模が大きく、管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。							
	III-3 鉛給水管の計画的更新	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	A	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。							
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種災害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して、発生時に有効に機能するように努めること。							

施策	事業・取り組み	1次評価		方向性	2次評価
		効率性	有効性		経営審議会評価
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-① 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (DB(デザインビルド)方式の導入)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-② 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (給水装置工事検査業務の委託化に係る調査・検討)	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-③ 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (料金関連業務の委託化に係る調査・検討)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-4 遊休資産の有効活用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	C	C	維持	物価上昇など昨今の社会情勢を踏まえ、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、検討に際しては、利用者間の公平性や本市水道事業の中長期的な事業継続に対して十分配慮することが望ましい。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-7 機能的・効率的な組織体制の構築	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-① ICTを活用した業務効率化 (RPA(Robotic Process Automation)の導入)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-② ICTを活用した業務効率化 (スマートメーターの導入検討)	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-③ ICTを活用した業務効率化 (ICTを活用した給水装置審査業務の集約化に係る調査・検討)	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	C	—	拡充
VI-2 お客さまの意見・要望の把握		C	C	拡充	計画に沿った事業の推進に際しては、経営資源を効率的に活用しつつ、多様な利用者の意見・要望を効果的に把握することが望ましい。
VI-3 分かりやすい経営情報の開示		C	C	拡充	計画に沿った事業の推進に際しては、開示される経営情報のわかりやすさに対して十分に配慮したうえで、利用者である市民にとって本市水道事業の経営状況・環境に対する理解が深まるような工夫を講じることが望ましい。
VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供		C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

施策	事業・取り組み	1次評価		方向性	2次評価
		効率性	有効性		経営審議会評価
Ⅶ技術・知識を有する人材の確保と育成	Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	B	E	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、コロナ禍以降、オンライン形式での研修・講習も定着しつつあることもあり、多様な方法・手段により職員の資質向上のための各種取り組みの実施を検討するだけでなく、研修等人材育成に関する各種取り組みの体系化を図ることが望ましい。
	Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	C	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
Ⅷ環境に配慮した事業運営	Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進	B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅶ-2 水道局環境計画の策定と推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。